

PIPELINE PILOT 8.0の新機能

Pipeline Pilot 8.0 は、サイエンティフィック・インフォマティクス・プラットフォームの利用範囲をこれまでよりもさらに拡大し、研究開発コミュニティ全体で使用できるようにすることにより、大規模な研究開発組織でもご利用いただけるようになりました。さまざまな新機能の追加により、迅速かつ高度な科学技術の革新を促進し、大規模な組織に必要なセキュリティや拡張性に対応し、研究チームとの緊密なコラボレーションを実現します。

迅速かつ高度な科学技術の革新を促進

アプリケーション開発を迅速化する
新しい設計モードと表示モード

Design Mode(設計モード)は、プロトコルの構築とデバッグを迅速、簡単に行うための新機能です。プロトコルを作成すると、データキャッシュがコンポーネントごとに自動生成されるので、ステップごとのデータやコンポーネントごとの効果を簡単に確認できます。

データは、Pipeline Pilotの新しいData Watch Windowsで直接表示できます。パラメータを変更するとその効果がただちに反映されるので、プロトコルを能率的に構築できます。ユーザーは、画像やレポートをプレビューしたり、適合(Pass)、または不適合 (Fail) となったレコードのみを表示したり、データの状態を参照するコンポーネントの表示を固定したまま、プロトコルの別の部分に対する作業を行うこともできます。

コンポーネントコレクションの更新による高度な科学技術機能の実現

Imaging Collection

Imaging Collection をアップデートし、サポートする商用/オープンソースの画像処理アプリケーションや画像フォーマットを大幅に増加しました。また、Pipeline Pilot にさまざまなサイズの画像を表示したり、注釈を付加したり、処理することが可能な対話型のビューアを追加し、研究組織における研究開発用の画像処理を単一のプラットフォームで扱えるようにしました。

Statistics Collections

学習モデルコンポーネントで Model Applicability Domains(MAD)をサポートすることにより、モデルの総合的な予測精度のほか、特定の例に対する予測精度も科学者が評価できるようにしました。また、このコレクションの機能拡張には、異なるモデルのパフォーマンスを比較対照したり、クラスタリングや検索、新規のトレーニングデータを利用して、既存のモデルを再構築できる機能が追加されました。

Chemistry Collection

Chemistry Collectionが強化され、組織全体を通じて、化学情報の蓄積、情報交換する方法が向上しました。たとえば、レポートにおける分子描画の向上とカスタマイズ性の拡張、化学データベースへの化合物登録や操作をサポートする新しいコンポーネントの追加などを行っています。

パフォーマンス、セキュリティ、管理機能を強化

プラットフォームサポートとデータベース管理の強化

64ビットのWindows Server 2008をサポートし、膨大な量の計算を必要とするタスクでメモリを大幅に有効活用できるようになりました。また、社内データベースなどのデータソースへの接続もPipeline Pilotで直接行えるのでデータソースの管理や異なるPipeline Pilotサーバー間でのプロトコルの共有も簡単です。

大規模な組織が必要とするセキュリティ要件に対応

ユーザーやグループに認証ロールを割り当てることにより、組織内のさまざまなユーザーグループをサポートできます。セキュリティパラメータは、フォルダレベルやユーザーロールに対して設定できるようになりました。

負荷の監視によりパフォーマンスを最適化

ユーザーや管理者は、サーバーの利用状況を見ることができるようになりました。また管理者は、サーバーのメモリやプロセスの利用率のジョブのキューを制御することで、パフォーマンスの最適化を図ることができます。

研究チームとの緊密なコラボレーション

Microsoft® Office SharePoint® Server 2007との統合を強化

Pipeline Pilot 8.0 の機能強化により、SharePoint Server 2007の科学的な利用が実現しました。緊密な連携によって、ワークフロー内で、SharePoint のドキュメント管理システムとの間で読み取りや書き込み処理が簡単に行えるようになり、またSharePoint のリストを使用した Pipeline Pilot プロトコルへの入力も可能となります。これにより、研究者は正確で動的な科学文書リポジトリにアクセスできるようになり、科学データへのアクセス、分析、レポート作成、研究開発組織全体でのコラボレーションに関する基本的なニーズを満たすことができます。

一貫性を保つ新しいレポート作成コレクション機能

チームが文章やグラフ、スタイルシートの書式を設定して、企業の標準に合った外観や雰囲気を持つ成果物を作成できるようになりました。また、面グラフ、カスタマイズに使用できるフルカラーパレット、データの範囲をグラフに動的に設定できるスライダー、視覚化を実現するFlash、Webページで高度な対話操作を実現するためのスクリプトを利用可能なグラフなどが追加されました。Reporting Collectionのアップデートにより、Pipeline Pilotの機能はさらに強化されます。一貫性のある情報を組織内に広く配布できるようになり、効果的で信頼性の高い意思決定を支援します。

Pipeline Pilot の詳細については、次の URL を、ご参照下さい。
<http://accelrys.co.jp/products/pipeline-pilot>